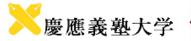


東京工業大学 Tokyo Institute of Technolog





PRESS RELEASE

平成25年12月2日

文部科学省記者会 御中 科学記者会 御中 岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

> 出 Щ 大 大 学 東 京 工 業 学 大 学 早 稲 田 大

欧州委員会の交流事業 ハスストンドゥス計画 FASED プログラム

「エラスムス・ムンドゥス計画 EASED プログラム」が採択 日韓欧計 16 機関がコンソーシアムを設立

日本参加大学:岡山大学、東京工業大学、慶應義塾大学、早稲田大学 日本協力機関:宇宙航空研究開発機構(JAXA)

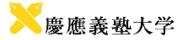
欧州圏とアジア圏の学生・研究者交流を国際的枠組みで促進する欧州委員会の交流事業である「エラスムス・ムンドゥス計画 第II 期 2009-2013」の BEAM (Build on Euro-Asian Mobility) プログラム (実施期間 2010~2014 年) に続く拡大版として EASED (Euro-Asian Sustainable Energy Development)プログラム (実施期間 2013~2017 年) が新規に採択されました。

本プログラムは、岡山大学、東京工業大学、慶應義塾大学、早稲田大学の日本 4、韓国 2、欧州 6 の計 12 高等教育機関と宇宙航空研究開発機構を含む日本・韓国・欧州の 4 協力機関がコンソーシアムを形成し、その枠組みの中で BEAM プログラム同様、日本の大学と欧州の教育機関が対等に連携し、博士課程の学生やポスドク・研究者、教員が"持続可能なエネルギーの開発"を中心テーマとして相互に交流を行います。これにより両地域間の研究交流の実質化と本テーマの更なる研究の発展が見込まれます。この交流事業に欧州委員会より投入される費用は総額約 124 万ユーロ(約1.7億円)です。

【エラスムス・ムンドゥス計画】

1987年に始まり、欧州の学生に出身国以外の欧州諸国で学ぶ機会を提供してきた「エラスムス計画」の世界版で、欧州の高等教育の質を高めることを目的とした高等教育分野における教育機関の連携と学生・研究者の交流を促進するための計画です。第 I 期(2004-2008年)は約 2 億 3 千万ユーロ、第 II 期(2009-2013年)は約 4 億 9 千万ユーロで実施され、現在は第 II 期にあたり、3 つのアクションから構成されています。







PRESS RELEASE

【EASED プログラム】(実施期間 2013~2017 年)

フランスのエコール・サントラル・パリ校を中心とした 16機関(12のパートナー機関と4つの 協力機関)が、コンソーシアムを設立し、高等教育・研究および管理の分野で、欧州とアジアの工 業国に学術と人材育成面での活発な交流を目的に企画・提案されました。本プログラムは「エラス ムス・ムンドゥス計画 | 第 Π 期アクション 2 で採択された BEAM プログラム (実施期間 2010~2014 年)の拡大版で、Eco Energy をキーワードとした持続可能なエネルギー開発の研究を中心に、工 学一般、自然科学、数学、情報、建築、航空の分野が対象となっています。

<交流事業の内容>

欧州圏の6教育機関とアジア圏の6大学(日本4、韓国2)間で、関連研究機関の協力を得て博 士課程の学生やポスドク・研究者、教員の交流が行われます。交流人数は、欧州圏からアジア圏 へ48人、アジア圏から欧州圏へ21人の予定で、交流経費は、総額約124万ユーロ(約1.7億円) が欧州委員会から拠出されます。

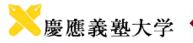
優れた教育ならびに研究遂行に実績のある国内の大学と欧州の代表的教育機関の連携による国 際交流を通じた若手人材の育成は、欧州とアジアの架け橋となり、科学・文化・経済交流が促進さ れます。また、さらには博士課程の学生や研究者の国際双方向交流がより密接になり、各教育機関 の世界への展開力強化の礎を築くことが大いに期待されています。新たなコンソーシアムでは BEAM プログラムで構築した交流をさらに活かした体制により実施していきます。

<参加機関>

コンソーシアム			
欧州圈		アジア圏	
高等教育機関	エコール・サントラル・パリ(フランス) <u>幹事校</u>		岡山大学(日本)
	インペリアル・カレッジ(英国)		東京工業大学(日本)
	ミュンヘン工科大学 (ドイツ)		慶應義塾大学(日本)
	ブリュッセル自由大学 (ベルギー)		早稲田大学(日本)
	マドリード工科大学 (スペイン)		韓国科学技術院(KAIST)(韓国)
	ミラノ工科大学 (イタリア)		釜山大学校(韓国)
協力機関	T.I.M.E. (Top Industrial Managers for Europe) Association (フランス)		宇宙航空研究開発機構(日本)
	Von KARMAN INSTITUTE FOR FLUID DYNAMICS(ベルギー)		韓国エネルギー技術研究院(韓国)
		J	



東京工業大学 Tokyo Institute of Technolog





PRESS RELEASE

<今後の日程>

- 1. 各教育機関長名でコンソーシアム設立同意文書に署名
- 2. 2013 年 12 月上旬(予定)までに、交流者を受け入れる研究室リストを幹事校エコール・サントラル・パリに提出
- 3. 募集は博士後期課程学生、ポスドク・研究者・教員の3つのカテゴリーとし全体を3回に分ける
 - 1回目の応募2014年1月~2月、2014年3月選考、2014年5月から派遣
 - 2回目の応募2014年9月~10月、2014年11月選考、2015年1月から派遣
 - 3回目の応募2015年9月~10月、2015年11月選考、2016年1月から派遣

【注】

- 1.「エラスムス・ムンドゥス計画」の事業名は、「痴愚神礼賛」で有名なオランダの人文学者 エラスムスに由来
- 2. 「エラスムス ・ムンドゥス計画」

第 I 期 (2004~2008 年) EU に留学する EU 域外からの学生と研究者が対象で、約 7,000 件に 奨学金又は研究奨学金を授与

第Ⅱ期(2009~2013年)3つのアクションからなる。

アクション1:欧州の大学と第三国の大学との間の修士課程及び共同博士課程の開設

アクション2:欧州の大学と第三国の高等教育機関によるコンソーシアムの形成と、

博士課程の学生、研究者の交流。学士課程・修士課程・博士課程の学生、

ポスドク・研究者、教員へ奨学金を提供

アクション3:ヨーロッパの高等教育の促進

3.「BEAM プログラム」

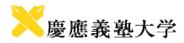
「エラスムス・ムンドゥス計画」の第Ⅱ期アクション2にあたるプログラム。East Asia 部門で応募した全7件の内唯一採択され、総額約150万ユーロ(約1.7億円)の交流費で実施されました。

4. EASEDプログラムに関する詳細な情報は

http://archive.ecp.fr/en/J_erasmus_mundus/J3_erasmus_mundus_EASED/J3a_erasmus_mundus_ECW_objectives.htm エラスムス・ムンドゥスに関する詳細な情報はhttp://eacea.ec.europa.eu/をご覧ください。









PRESS RELEASE

【お問い合わせ】

◆岡山大学

EASEDプログラムについて:岡山大学自然科学研究科 教授 池田 直

TEL: 086-251-7808

その他:岡山大学総務・企画部 企画・広報課 担当:内田、山崎

TEL: 086-251-7293 FAX: 086-251-7294

◆東京工業大学

EASED プログラムについて:東京工業大学大学院理工学研究科 准教授 福田 大輔 その他:東京工業大学広報センター プレス担当:加藤 美和子

◆慶應義塾大学

EASED プログラムについて:慶應義塾大学理工学部機械工学科 教授 小尾 晋之介 その他:慶應義塾広報室 担当:渡辺

◆早稲田大学

EASED プログラムについて:早稲田大学先進理工学部物理学科 教授 勝藤 拓郎 その他:広報室広報課 担当:滝沢